

連合運動会を終えて

6年1組担任 寺本 英子

秋の深まりを感じる中、10月18日、夢の島陸上競技場で港区連合運動会が開催されました。

今年は、何十年も使ってきた校名のゼッケンを新調し、これまでの6年生以上に頑張ろうと気持ちを引き締めて臨みました。100mを直線で走ることができる本格的な設備が整った競技場で全員が思い切り体を動かしてきました。どの子も自分の出場した競技に練習の成果を発揮することができ、大満足の連合運動会となりました。また、フィールドで自分の出番を待つ間に他校の子と自然に会話をする姿も見られ、普段の学校生活では得られない貴重な経験となりました。

6年生は、卒業まで登校する日がもう100日を切りました。これからも学習に、様々な行事に一生懸命取り組んでいきたいと思います。

3年生について

3年1組担任 山崎 修一

3年2組担任 三根 博喜

3年生から社会科の学習が始まりました。まず港区探検では、学校の周辺や自分たちが住んでいる港区にはどんな施設や特徴があるのかを学習してきました。まず区役所の見学に行き、港区の区役所の施設で働く人々の様子を見学しました。次に東京タワーの展望台から見渡した町の様子を見学しました。そして、一人一人が授業や探検を通して学んだことを新聞にまとめることができました。スーパーマーケット見学では、ナニワヤさんに見学に行き、普段見ることのできない、店の裏側や商品管理について見学し、店の工夫を学ぶことができました。

2学期の、総合的な学習の時間では「世界について知ろう」のテーマで、2学期の前半はグループ、後半は各個人で世界の国々の国旗や食べ物、文化などについて調べ、発表に取り組みました。世界の文化や習慣を知り、日本と比較することで、日本や世界の様々な価値観や歴史を知ることができました。

もうすぐ学期末です。子供たち一人一人が、達成感をもって学期を終えられるように、学習してきたことを振り返ってまとめ、しっかりと定着させたいと思います。

どうして音楽を学ばなきゃいけないの？

音楽専科 島中 圭一

好奇心旺盛な子供の健全な質問です。同じことを算数や英語の学習で聞かれたことのある先生や保護者の方も多いのではないのでしょうか。

算数(数学)は、頭の中で上手く情報を整理するのに必要なモデル化の思考力を養うため、外国語は、言語を学ぶことでその背景にある国の文化を知り見識を広めるため、とすることができます。では、音楽は何のために学校教育として学ぶのでしょうか。

私自身は、①言葉を介さず、自己の感情を表現したり他者とコミュニケーションを取ったりするツールとして、②美しいものに触れる感動体験を友達と共有できること、この2点が軸になると考えています。

東町小の子供たちは、日本人の子も外国籍の子も関係なく、声をそろえて気持ち良く歌ったり、互いの音を聴き合いながら呼吸を合わせて合奏したりして、一生懸命活動しています。音楽は世界の共通言語としばしば言われますが、様々な言葉が飛び交う本校だからこそ、音楽を通して、言葉や文化の壁を超えた感動体験の共有を子供たちにさせたいと考えています。

本校の国際科教育について

国際科主任 山崎 修一

港区では、平成14年から英語活動を実施してきました。そして、平成19年度から教育課程に「国際科」を位置付け、外国人講師(NT:ネイティブティーチャー)を各校に配置し、英語指導を行っています。

本校では、5年前から国際学級の導入に伴い、「習熟度別学習」を始めました。自分の英語スキルに応じたクラスにより、英語のコミュニケーション能力の向上を図っています。

国際科の授業では、本時のターゲットセンテンスを通して、単語だけでなく、文章で英語を発話する練習をしています。

英語の語彙を増やし、コミュニケーションスキルを向上させることも大切ですが、世界にはたくさんの国があり、それぞれの文化の違いを知ること大切な国際理解教育です。

世界で活躍できる国際人を育成するため、違いを認め合う指導を日々の授業においても行っています。